



学校のめあて
心豊かでたくましく
自ら学んで未来を創る

節分(2月3日)

今年、2月3日(土)が節分です。節分とは、本来季節の分かれ目である「立春、立夏、立秋、立冬」の前日のことをさします。年に4回ありますが、室町時代あたりから、節分といえば立春の前日をさすようになりました。旧暦では春が新年の象徴だったため、立春前日の節分は大晦日のようなものだったようです。また、昔は「季節の変わり目には邪気が入りやすい」を考えられていたため、季節の変わり目でもある立春の前日の節分に、邪気の象徴である鬼を追い払う行事が定着したともいわれています。最近では、幸運を招く方向(今年は東北東)に向かって太巻きをまるかじりする風習も、関西から広まって行われるようになってきました。これは、恵方に向かって事を行えば、「何事も吉」とされると言われているからです。皆さんは2月4日(日)からの節季「立春」を、どのような気持ちで迎えますか。心の中に住む目に見えない悪い鬼を「鬼は外」で追い出し、福をもたらす福の神を「福は内」に呼び込み、新鮮な気持ちで春を迎えてほしいと思います。



目の錯覚の不思議

目の錯覚は、「錯視(さくし)」といわれて、目で見たとときに、実際とは違って感じ取られる心理的な現象のことです。錯視にはさまざまな種類があり、ものの大きさ・角度・色が変わって見えるもの、止まっているものが動いて見えるもの、無いものが見えるもの、平面なのに立体的に見えるものなど、多くの錯視が発表されています。ものを見るという行動は、私たちの目と脳が協力してはたらいたものです。錯視は目で見ても感じるものですが、その多くは脳によっておこると考えられています。校長室の入り口にいろいろ紹介していますので、体験してみてください。錯視は個人差のある心理的な現象であるため、中には錯視を感じない人もいます。見えなくても、心配しないでくださいね。

例1【ミュラーリヤー錯視】どの線が長い？

例2【ハーマン格子錯視】すきまに点が見える？

